TRAFFIC ADVICE [HMS（Honda Motorcyclist School）タンデムスペシャル]

★交通安全活動をサポートする

ライダーとパッセンジャーが二人乗りの正しい知識を学ぶ

ライダーはパッセンジャーに不安を与えないように、パッセンジャーはライダーの運転操作に影響を与えないようにお互いが意識しながら練習を繰り返した

3月21日、交通教育センターレインボー埼玉で「HMSタンデムスペシャル」が開催された。このスクールは、4月1日から道路交通法の改正により高速道路（一部区間除く）で二人乗りの走行が可能になることに先立ち、ライダーとパッセンジャー（後席同乗者）にタンデム（二人乗り）での運転について正しい知識を提供し、交通事故防止に役立ててもらうことを目的としている。ペアでの申し込みが条件となっており、この日は9組18名が参加した。

午前10時よりオリエンテーションが始まり、インストラクターが「今日は、正しい二人乗りの方法、二人乗りにおける二輪車の特性、そして、パッセンジャーへのアドバイスの仕方を、理解していただきたいと思います」と受講者にスクールの主旨を述べた。

最初のカリキュラムでは、ライダーとパッセンジャーの乗車姿勢と乗降車について、インストラクターがポイントを説明。受講者はトレーニング車両に乗車して、ライダーとパッセンジャーがお互いの姿勢を確認した。

次は実車での走行。「パッセンジャーがライダーと逆の動きにならないように、パッセンジャーの方も目の前の交通状況に気を配ってください」、「ブレーキをかけた時は、パッセンジャーの体重がライダーにのしかかり、姿勢が窮屈になって一人乗りの時のようなブレーキングはできません。余裕を持ってブレーキングをしましょう」とインストラクターがアドバイスを行う。また、コーナリングの際にパッセンジャーがライダーとは逆に身体をコーナーの外側に反らしてしまうと、バイクは曲がりにくくなることをインストラクターが実演した。そして、受講者は二人乗りでのブレーキング、パイロンスラロームなどの課題に取り組んだ。

スクールは午後12時30分に終了。

この日、友人と参加した荒井芳枝さんは「今までタンデムは怖いと感じていましたが、今日は思い通りにバイクを動かせました。一人乗りと二人乗りとの違いを事前に教えてもらったからだと思います」と感想を語った。

この「HMSタンデムスペシャル」は埼玉の他に、アクティブセーフティトレーニングパークもてぎ（3／27）、交通教育センターレインボー浜名湖（3／27）、鈴鹿サーキット交通教育センター（3／16）でも開催された。

なお、ホンダの全国8ヵ所の交通教育センターでは、従来の二人乗りカリキュラムの内容をさらに充実させ、「タンデムコース」としてリニューアルし、4月より開催している（開催日程等、詳細は下記の交通教育センターへお問い合わせください）。

写真上／ライダーとパッセンジャーの乗車姿勢について細かくインストラクターが説明
写真右／ブレーキングでは40km/hと60km/hから安全に停止する練習を行った

NEWS REVIEW

●日ASEAN交通安全プロジェクト専門家会合
ホンダの安全運転普及活動をASEAN各国に紹介

3月23日、国土交通省が主催する「日ASEAN交通安全プロジェクト専門家会合」において、本田技研工業（株）安全運転普及本部が活動報告を行った。

この日は、アジア地域における交通事故問題をテーマに、その抑制を目標とした政策・施策の優良事例等の情報や意見交換が行われた。ASEAN各国からは運輸省などの交通安全政策担当課長などが、日本からは国土交通省の交通政策担当官、警察庁の交通安全企画担当者、大学教授などが出席した。

本田技研工業（株）安全運転普及本部は「民間企業による交通安全教育」をテーマに、国内の交通教育センター、販売店、学校などでのHondaの交通安全教育活動などについて発表し、さらに東南アジア各国で展開する安全運転活動の事例も紹介した。質疑応答では、各国担当者から「Hondaの自国における安全活動に感謝している」という声が相次ぎ、また「交通教育センターの増設をしたい」（タイ）、「すべてのドライバーにHondaの安全活動を浸透させたい」（マレーシア）といった要望も出て、Hondaに対する期待の高さをうかがわせた。最後に、山下国土交通省国際協力政策企画官の「政府と民間企業との連携が大切と改めて実感した」という言葉で報告は終了した。

交通安全活動を広げる SAFETY REPO

●ホザナ幼稚園（兵庫県）
「あやとりぃ ひよこ編」を使用した教育、兵庫県の幼稚園でも始まる

2月2日、兵庫県神戸市にあるホザナ幼稚園で兵庫県として初めて幼児向け交通安全教育プログラム※「あやとりぃ　ひよこ編」を使用しての授業が行われた。

はじめに年少組（3歳児）と年中組（4歳児）の授業。「まず、音あてクイズをしましょう」と鈴鹿市から来た交通教育指導員が呼びかける。「ハーイ」と園児の元気な声。CDから音が「ニャー」。「ネコ」と園児たち。「次は何の音？ブーブー」「クルマー」「そう、クルマに乗ってどこへ行くの？」「お買い物」「ドライブ」。「クルマに乗っていて人が飛び出してきました。どうすればいいのかな？」と指導員。「止まるー。」と園児たち。「そう、道を歩いて、止まるということはとても大切なことなんです。では、道はどう歩いて、どう止まれば良いのかな？」とイラスト教材の絵を見せながら指導員が問いかける。「赤は？」みんなで「止まる」の後に「青になったら？」「右見て、左見て、もう一度、右を見てわたる」。

次に「あやとりぃ4　みちをわたる①」を使用しての絵並べクイズ。「こうへい君が横断歩道を渡っています。どの順番が良いかな？」。園児たちが「次はこれ」「その次は……」と、こうへい君の横断の順番を並べ変えていく。「はい、こうへい君は正しく渡ることができました。みんな横断歩道の前では必ず止まる、右見て、左見て、もう一度、右を見てわたる。わかったかなー」と指導員。「ハーイ」と園児たちの元気な声で授業は終わった。

この日は「交通安全指導見学会」として「あやとりぃ ひよこ編」を使用しての授業が行われ、兵庫県の幼稚園の園長らが見守る中、この後、年長組（5歳児）の「あやとりぃ ひよこ編」を使った授業も行われた。

今回、兵庫県で初めて「あやとりぃ　ひよこ編」を取り入れることを実現したホザナ幼稚園の宮川一郎主事は「昨年、兵庫県幼稚園経営者懇談会で、鈴鹿を訪れた時に、『あやとりぃ ひよこ編』に出会い、当園でも、ぜひ実施したいと思いました。『あやとりぃ ひよこ編』という教材の素晴らしさは子どもの視点で作られていること。例えば、遊びに夢中になって道路に飛び出す子ども、駐車しているクルマのまわりで遊ぶ子どもなどが描かれ、授業の中で、子ども自身もそこで遊ぶことがどんなに危ないかを自らが理解するように作られています。」と話す。

「次は教師たちと勉強して、自分たちの手で『あやとりぃ ひよこ編』を使用した交通安全教育の授業を行いたいと考えています」と今後の展開を語ってくれた。

※あやとりぃ　ひよこ編＝4～6歳の子どもを対象に、興味を引くイラストやクイズを楽しみながら、親子のコミュニケーションを通して、交通行動の基本やマナーを身につけられるように工夫した教育プログラム。「あやとりぃ」とは「あんぜん」を「やさしく」「ときあかし」「りかいして」「いただく」の略称

活動短信 ●交通教育センター　3月

アクティブセーフティトレーニングパークもてぎ
TEL 0285(64)0100
●企業／[二輪]＝オートテクニックジャパン
[四輪]＝リコーテクノシステムズ、NTTオートリース、チーフセーフティコーディネーター、セーフティコーディネーター、オートテクニックジャパン、ホンダアクセス、ピーエスジー、本田技術研究所栃木研究所、和光研究所、本田技研工業
●官公庁／[四輪]＝山形地方検察庁
●一般／[二輪]＝HMS初級・中級の各コース、トレッキングファースト・セカンド・サードの各ステージ
[四輪]＝HDS初中級・中級の各コース

交通教育センターレインボー和光
TEL 048(461)1101
●一般／[四輪]＝高齢者講習

交通教育センターレインボー埼玉
TEL 049(297)4111
●企業／[二輪]＝関東電気保安協会東京西事業本部、東京電力浦和営業所、セコム東京本部、本田技術研究所朝霞研究所、本田技研工業埼玉製作所
[三輪]＝ヒガ・インダストリーズ、ドミノ・ピザ本部、沖北関東サービス、東京電力東京支店
[四輪]＝JAL航空機整備成田、明治乳業東京支社、さいたまコープ、キリンビバレッジ首都圏本部、東京電力埼玉工事センター、東京ガス、テプコケーブルテレビ、ヤンセンファーマ、日本オーチス・エレベータ、シジシタ・ジャパン、セコム東関東本部、東京本部、実用労働組合、ユニマットオフィスコ、ジョンソン・エンド・ジョンソン、内藤環境管理、東京キリンビバレッジサービス、関東電気保安協会東京西事業本部、ご視察体験会、チーフセーフティコーディネーター、セーフティコーディネーター、本田技研工業埼玉製作所
[講話]＝ケーヒン、本田技術研究所栃木研究所
●官公庁／[四輪]＝埼玉県央広域消防本部
●学校／[四輪]＝ホンダ学園
[自転車]＝出丸小学校
●一般／[二輪]＝HMS初級・中級・上級・入門・バランスファースト・バランススペシャルの各コース、親子でバイクを楽しむ会ファースト・セカンド・サードの各ステージ
[四輪]＝HDS初級ファースト・セカンドの各ステップ、車庫入れマスターコース

交通教育センターレインボー浜松
TEL 053(437)5551
●一般／[原付]＝高齢者講習、初心者講習
[二輪]＝取得時講習、初心者講習、HMS初級半日・卒業生体験・入門スクールの各コース
[四輪]＝高齢者講習、高齢ドライバーセーフティスクール、ペーパードライバースクール

交通教育センターレインボー浜名湖
TEL 053(527)1131
●企業／[二輪]＝中部電力
[四輪]＝ジャパンビバレッジ、静岡製機、ヤマト運輸、視察体験会、チーフセーフティコーディネーター
●官公庁／[四輪]＝総務省中国総合通信局、横浜地方検察庁、浜松市交通事故対策会議
●一般／[二輪]＝HMS初級・中上級半日・1日・プライベートレッスン・オフロード入門・トライアル入門・プライベートレッスンの各コース、親子でバイクを楽しむ会ファースト・セカンドの各ステージ、チームマリモ・サイクル・レッスン
[四輪]＝HDSスポーティ&セーフティ・ハンドリング&自己診断の各コース

鈴鹿サーキット交通教育センター
TEL 05593(78)0387
●企業／[二輪]＝カヤバ工業、ヒガ・インダストリーズ、ドミノ・ピザ
[四輪]＝リコーテクノシステムズ、三菱電機ルテクノサービス、ヨシケイナラ、ダイドー、中部電力四日市営業所、オールホンダ、チーフセーフティコーディネーター、セーフティコーディネーター、本田技研工業
●官公庁／[四輪]＝全日本交通安全協会、財務倉関税局、大阪朝日奨学会、大阪地方検察庁、岡山地方検察庁、神戸地方検察庁、岐阜地方検察庁、徳島地方検察庁、岐阜地方検察庁
●学校／[四輪]＝鳥羽商船高等専門学校、豊田工業専門学校
●一般／[二輪]＝HMS初級・中級・上級・オフロード入門・トライアル入門の各コース、親子でバイクを楽しむ会ファースト・セカンド・サードの各ステージ、チームマリモ・サイクル・レッスン、クシタ[HMS、滝川ホンダHMS
[四輪]＝HDSファースト・セカンド・サードの各コース、佐々木HDS、NSXオーナーズミーティング

交通教育センターレインボー福岡
TEL 092(963)1421
●企業／[二輪]＝西日本新聞奨学会
[四輪]＝明治乳業、セーフティコーディネーター、ホンダモーターサイクルジャパン
●学校／[二輪]＝古賀高等学校
●一般／[二輪]＝HMS初級・中級の各コース、初心者講習、高齢者講習
[四輪]＝HDS入門コース、高齢者講習、初心者講習、取得時講習

交通教育センターレインボー熊本
TEL 096(293)1370
●企業／[四輪]＝九州武蔵精密、日本たばこ産業、リコーテクノシステムズ、南九州ペプシコーラ販売、視察会、チーフセーフティコーディネーター、セーフティコーディネーター、本田技研工業熊本製作所
[出張講習]＝本田技研工業熊本製作所、親子交通安全教室
●官公庁／[四輪]＝長崎県島原振興局、八代税関支署、八代地区安全運転管理者等協議会、宮崎県田野町役場、熊本市消防局、八代広域消防本部、熊本県電動しゅう安全利用講習指導者養成講座
●一般／[二輪]＝HMS初級・中級（1日）・中級（タンデム・スラローム）・上級・オフロード入門・トライアル入門の各コース、親子でバイクを楽しむ会ファースト・セカンド・サードの各ステージ
[四輪]＝HDS初級（車両感覚）・中級（ハンドリング・危険回避）の各コース